

浜松市地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)[2026](案) に対するご意見ありがとうございました

市民の皆さんからの提出意見と
その意見に対する市の考え方の公表



令和7年11月から12月にかけて実施しました浜松市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)[2026](案)に対する意見募集(パブリック・コメントの実施)に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

意見募集を行った結果、市民等29名2団体から57件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

また、お寄せいただきましたご意見を考慮して、「浜松市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)[2026]」を策定し、令和8年4月からの実施を予定しています。今後とも、浜松市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)[2026]に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この内容は、市ホームページ(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>)にも掲載しております。

令和8年3月

浜松市産業部カーボンニュートラル推進課

〒430-8652 浜松市中央区元城町103-2

TEL 053-457-2502

FAX 053-3730-8104

Eメールアドレス ene@city.hamamatsu.shizuoka.jp

募集結果

【実施時期】	令和7年11月19日から令和7年12月19日			
【意見提出者数】	29人・2団体			
【意見数内訳】	57件 (提案15件、要望9件、質問19件、その他14件)			
【提出方法】	持参(4) 郵便(0) 電子メール(12) FAX(3) 説明会等(38)			
【案に対する反映度】	案の修正	14件	今後の参考	1件
	盛り込み済	5件	その他	37件

目次

序章	計画の基本的事項(意見数 0件)	2ページ
第1章	地球温暖化の現状と国内外の動向(意見数 0件)	2ページ
第2章	温室効果ガス排出量などの現状(意見数 3件)	2ページ
第3章	2050年カーボンニュートラルの実現 (意見数 2件)	4ページ
第4章	2050年カーボンニュートラル実現に向けた取組 (意見数 0件)	5ページ
第5章	温室効果ガス排出削減量などの目標(意見数 6件)	5ページ
第6章	緩和策(温室効果ガス排出量削減に関する施策) (意見数 37件)	7ページ
第7章	適応策(浜松市気候変動適応計画)(意見数 0件)	17ページ
第8章	計画の推進(意見数 1件)	17ページ
その他	(意見数 8件)	17ページ

序章 計画の基本的事項（0件）

第1章 地球温暖化の現状と国内外の動向（0件）

第2章 温室効果ガス排出量などの現状（3件）

質問 1	「温室効果ガス排出量」はどのように計算しているのですか。
-----------------	------------------------------

【市の考え方】その他

国が都道府県別に公表したエネルギー消費統計などに基づき、浜松市の製造品出荷額等の比率などから按分して排出量を推計しています。

別冊資料編の資料-1に算定方法を掲載しています。

質問 2	中部電力以外の電力会社の利用も増えていますが、年間総電力使用量は、どのようなデータを使用しているのですか。
-----------------	---

【市の考え方】その他

年間総電力使用量のデータは、系統線（電線）を通った電力量として公開されています。

提案 1	電力自給率の算定において、2022年度から逆潮流量を採用したとありますが、「浜松市域“RE100”」は、市内の総消費電力に相当する電気を、市内の再生可能エネルギー施設で生み出すことができる状態のことですので、実測値ではなく、導入量に基づく発電能力で計算すべきと考えます。
-----------------	---

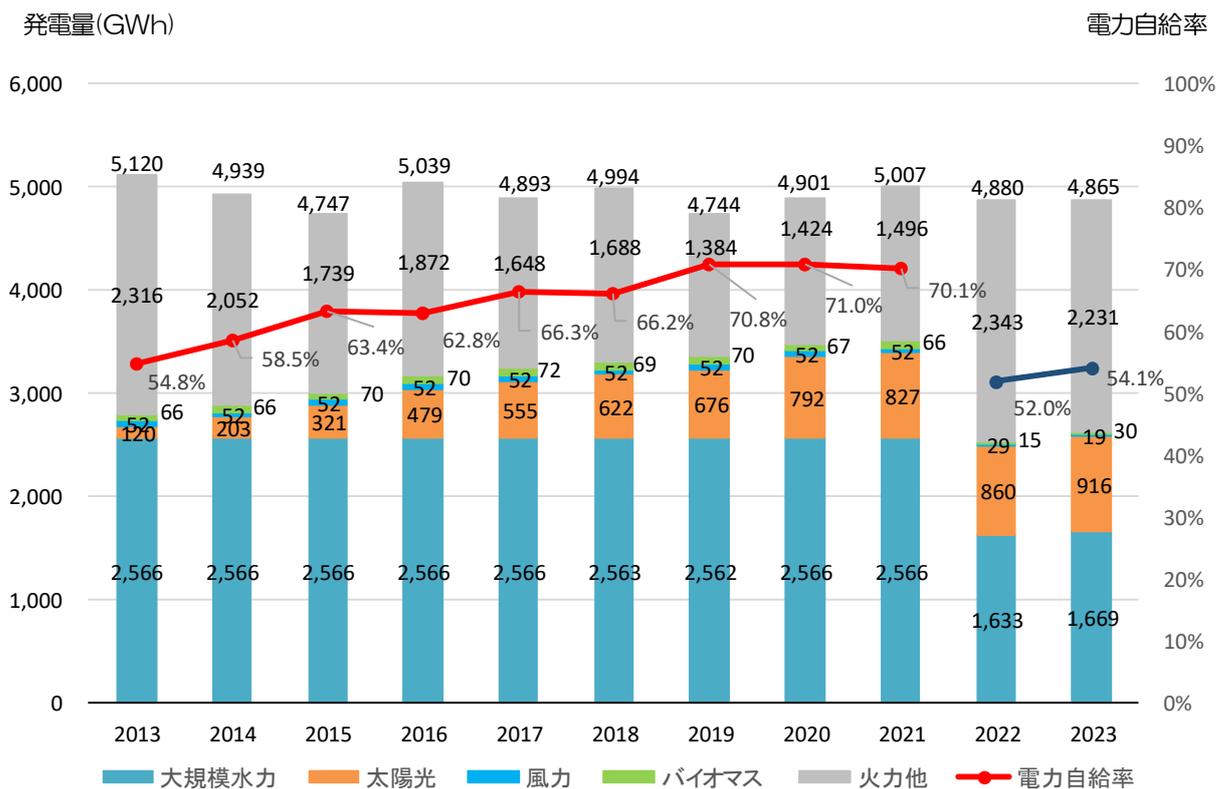
【市の考え方】案の修正

ご意見を踏まえ、下記のとおり本文を修正します。

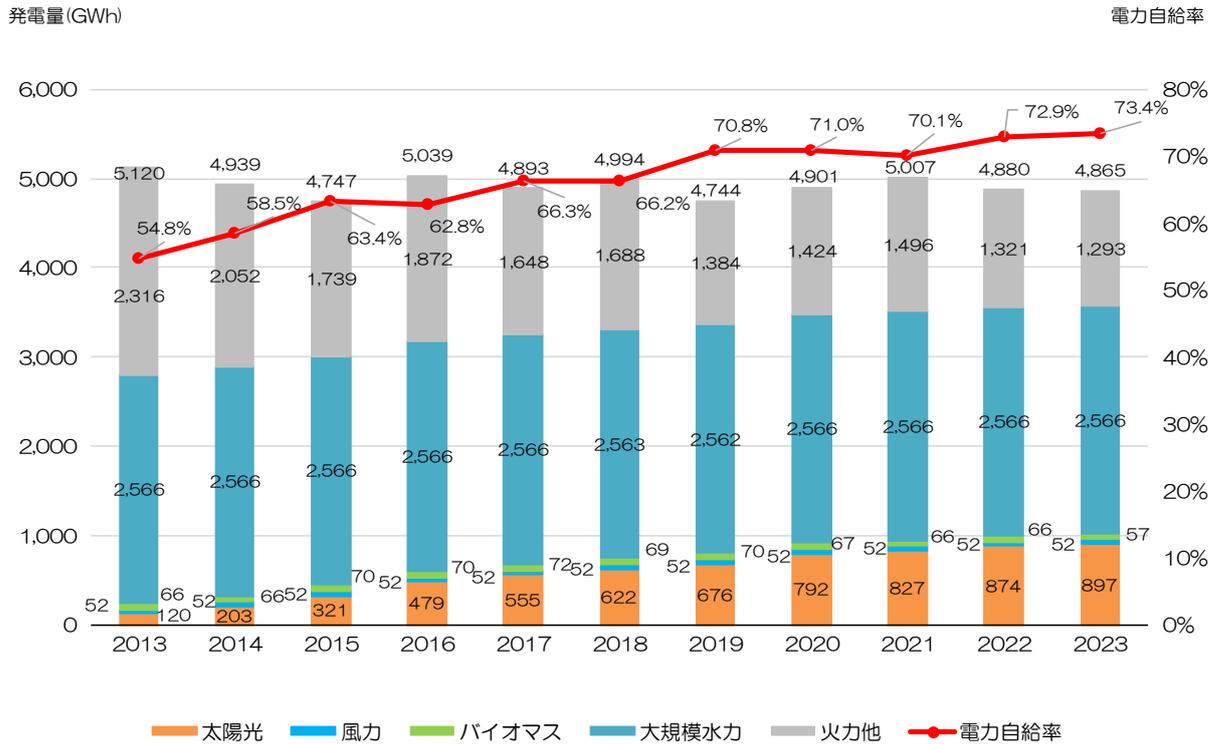
《修正内容》（修正後計画案 15 ページ）

（修正前）

なお、2022年度から中部電力パワーグリッド株式会社の提供による逆潮流量を採用したことから、より実態に近いデータを把握できるようになりましたが、算定方法の変更により2021年以前のデータと乖離が生じています。



※2013～2021年度の発電量は発電容量などからの推計値、
 2022及び2023年度の発電量は中部電力パワーグリッド(株)提供による逆潮流
 により算定
 (修正後)
 削除



削除

第3章 2050年カーボンニュートラルの実現（2件）

質問 3	遠州灘沖における洋上風力発電は、採算がとれるのでしょうか。太陽光発電については、再生可能エネルギーの主軸ではなくなっていると思います。
-------------	---

【市の考え方】その他

洋上風力発電の導入については、静岡県「洋上風力発電のあり方検討会」で検討を重ねています。

太陽光発電については、国の「第7次エネルギー基本計画」において、2040年度に現在の2倍程度に増やすとしており、市もこれを踏まえ、今後さらに導入を推進する方針としております。

質問 4	太陽光発電の割合を大幅に増やしていく目標を設定する際に、バックカスティングの考え方以外にも何か根拠をもって設定していますか。
-------------	--

【市の考え方】その他

国の2040年度の電源構成における水力発電を除いた比率（3割～4割）の見通しと整合させ、本市の大規模水力を除いた再エネの比率も4割となるよう、太陽光発電量の割合を設定しています。

第4章 2050年カーボンニュートラル実現に向けた取組（0件）

第5章 温室効果ガス排出削減量などの目標（6件）

質問 5	国の「地球温暖化対策計画」では、2035年、2040年度目標に関し、明確に何年までバックキャストしているかを示していないのではないのでしょうか。
-----------------	--

【市の考え方】案の修正

ご意見を踏まえ、下記のとおり本文を修正します。

《修正内容》（修正後計画案 22 ページ）

（修正前）

具体的には、国が2035・2040年度の削減目標を設定する際、2050年カーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）及び2030年度基準年度比46%削減からバックキャストして算定していることから（略）

（修正後）

具体的には、国が2035・2040年度の削減目標を設定する際、2050年カーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）からバックキャストして算定していることから（略）

質問 6	2030年度の温室効果ガス削減目標に対して、2022年度の現状では2割程度しか削減できていません。今後5年で目標を達成できそうですか。
-----------------	---

【市の考え方】その他

2030年度51%削減は国の46%と比べても意欲的な目標です。このような中、徹底した省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの最大限の導入等を、市、事業者、市民がそれぞれの役割のもと、連携して取り組むことで目標達成を目指してまいります。

質問 7	年度ごとの排出削減目標が設定されていますが、毎年チェックしているのですか。
-----------------	---------------------------------------

【市の考え方】その他

「浜松市環境審議会」や「浜松市カーボンニュートラル推進会議」、「浜松市カーボンニュートラル推進本部会議」において、毎年度の温室効果ガス排出状況や施策の実施状況等を報告しています。

要望 1	太陽光発電の最大限の導入を進める一方で、国はメガソーラーの開発規制を強化する方針を示しています。これら2点の整合性に配慮した表現に変更すべきと考えます。
-----------------	--

【市の考え方】案の修正

ご意見を踏まえ、下記のとおり本文を修正します。

《修正内容》(修正後計画案 24 ページ)

(修正前)

日照条件に恵まれた本市においては、引き続き太陽光発電を主力電源として位置づけ、最大限の導入を進めていきます。

(修正後)

日照条件に恵まれた本市では、引き続き太陽光発電を導入の主力となる電源に位置づけ、地域との共生が図られた導入を進めます。

質問 8	再生可能エネルギー由来電力の発電量において、2035年度の風力発電量が0になっているのはなぜですか。
-----------------	--

【市の考え方】その他

市内にある大規模な風力発電設備は、2030年度から2035年度の間で20年目を迎えてFIT制度による固定買取期間が満了となるため、廃止と仮定して目標設定を行っています。

提案 2	「太陽光発電を主力電源として位置づけ、2040年度の再エネの電源比率4割に向けて最大限の導入を進めていく」とありますが、発電量から主力電源は大規模水力であるため、主力導入電源としてはどうでしょうか。
-----------------	---

【市の考え方】案の修正

ご意見を踏まえ、下記のとおり本文を修正します。

《修正内容》(修正後計画案 24 ページ)

(修正前)

日照条件に恵まれた本市においては、引き続き太陽光発電を主力電源として位置づけ、最大限の導入を進めていきます。

(修正後)

日照条件に恵まれた本市では、引き続き太陽光発電を導入の主力となる電源に位置づけ、地域との共生が図られた導入を進めます。

第6章 緩和策（温室効果ガス排出量削減に関する施策）（37件）

提案3	「基本方針1 徹底した省エネルギーの推進」の1行目と14行目からの文は同じ内容であることから、1行目は削除すべきです。
------------	---

【市の考え方】案の修正

ご意見を踏まえ、修正後計画案27ページの1、2行目を削除します。

要望2	家庭が主体となって実施すべき取組を普及させるため、計画の内容をより分かりやすい表現としてほしいです。
------------	--

【市の考え方】その他

家庭で実践できる具体的な取組については、市民の皆様に分かりやすくお伝えするため、イラスト入りの冊子など啓発資料を作成しております。

市HPにおいて冊子などを掲載する他、イベントなどで積極的に配布し、家庭で実践できる具体的な取組を普及してまいります。

その他1	省エネ設備を導入した場合の電気料金削減など、その効果を一般の方が納得できる形で説明すれば、協力する方が増えるのではないのでしょうか。
-------------	--

【市の考え方】その他

国では、家電の買替による電気代を比較できるホームページ（しんきゅうさん）や省エネ統一ラベルなどにより、わかりやすく効果を示しており、本市においても広報はままつでのコラムや「デコ活」の取組をまとめた冊子などにより、市民への周知・普及を図っています。

提案4	へちまを緑のカーテンとして活用することで、窓からの日射を防ぎ、夏の冷房負荷低減となるため、「基本方針1 徹底した省エネルギーの推進」に「へちまの活用」を盛り込んでいただきたいです。
------------	--

【市の考え方】案の修正

緑のカーテンは適応策としても有用であることから、ご意見を踏まえ、下記のとおり本文を修正します。

《修正内容》（修正後計画案52ページ）

（修正前）

エアコンの適切な利用、住宅の高断熱化、すだれ・サンシェードなどによる日射遮蔽

（修正後）

エアコンの適切な利用、住宅の高断熱化、緑のカーテン・すだれ・サンシェードなどによる日射遮蔽

質問 9	家庭に求めている取組には費用が掛かるため、ハードルが高いと思います。何か対策を促すための考えはありますか。
-----------------	---

【市の考え方】その他

令和7年度においては、国で既築住宅における断熱窓への改修などに対し補助事業を実施しています。

本市としても、国の事業と連動し、既築住宅の断熱化によるメリットの普及啓発を実施している他、住宅に設置する太陽光発電設備や蓄電池、エネファームなどの導入やZEHの建築に対し補助金を交付しています。

要望 3	家庭部門の削減施策について、市の役割は冊子による啓発だけでなく、イベントやキャンペーンなどもあります。家庭部門の削減に向けた市の施策も、計画に組み入れるべきです。
-----------------	---

【市の考え方】その他

市が取り組む各施策の詳細については、毎年度策定する「カーボンニュートラル推進計画」に記載をしています。

市民に向けては啓発事業だけでなく、市民参加型事業も展開するなど、多様な事業を進めてまいります。

その他 2	小中学生への地球温暖化に関する出前講座は大変良い事業と考えます。
------------------	----------------------------------

【市の考え方】その他

次世代を担う小中学生への環境教育を、引き続き継続してまいります。

その他 3	市が行う環境学習などでは、まずは教員の人材育成をしていかなければなりません。 小中学校での環境教育が次世代への最も効果的で効率的な教育方法であるので、まずは学校が何をしていくのかを浜松市として考えてもらいたいです。
------------------	--

【市の考え方】その他

環境教育は、様々な教科で関連して学ぶことが大切とされており、教員の指導力の向上が求められています。そのため、外部人材の活用を含めた実践的な指導方法を共有し、子供が体験を通じて主体的に学べるよう支援してまいります。

提案 5	「市内では日常の移動を自家用車に依存する傾向が強く、運輸部門の二酸化炭素排出量の55%を市民、事業者がともに使用する自家用車由来が占めています。」の記述は、「自家用車」を「自動車」に表現を変えた方が自然に読めるのではないのでしょうか。
-----------------	---

【市の考え方】案の修正

ご意見を踏まえ、下記のとおり本文を修正します。

《修正内容》（修正後計画案 30 ページ）

（修正前）

市内では日常の移動を自家用車に依存する傾向が強く、運輸部門の二酸化炭素排出量の55%を市民、事業者がともに使用する自家用車由来が占めています。

（修正後）

市内では日常の移動を自動車に依存する傾向が強く、運輸部門の二酸化炭素排出量のほとんどを市民、事業者がともに使用する自動車由来が占めています。

要望 4	「電動キックボードなどの活用」とありますが、電動キックボードは危険度が高いので、警察とも連携をして交通ルールを遵守するための指導をしてもらいたいです。
-----------------	---

【市の考え方】その他

電動キックボードなどの運行に関しては、正しい知識を習得のうえ活用いただくよう、警察と連携協力して広報啓発活動に取り組んでいます。

要望 5	「静岡県生活環境の保全等に関する条例」では駐車時のアイドリングは禁止されていますが、ほとんど認知されておらず、罰則もありません。そこで、県条例とは別に、市の条例でアイドリングの罰則を規定してはどうでしょうか。
-----------------	--

【市の考え方】その他

不必要な駐車時のアイドリング削減のため、イベントやセミナーなどを通じた市民・事業者への周知・啓発を継続してまいります。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

提 案 6	基本方針2で再生可能エネルギーの最大限の導入・活用を掲げていること、市民向けの太陽光発電と蓄電池の導入は必ずしも電力料金を低減できるケースばかりでなく停電対策等のレジリエンスの付加価値を評価して導入するケースがあることを踏まえ、「・・・発電した電気を効率的に活用ができ、最大限導入に貢献できます。」といった表現に変えてはいかがかでしょうか。
----------------------	--

【市の考え方】案の修正

ご意見を踏まえ、下記のとおり本文を修正します。

《修正内容》（修正後計画案 32 ページ）

（修正前）

例えば、市民向けの住宅用太陽光発電設備では、消費しきれない余剰電力を蓄電池に充電し夜間利用することで、発電した電気の効率的な消費ができ、電力料金の低減が期待できます。

（修正後）

加えて、太陽光発電設備で発電した消費しきれない余剰電力を、蓄電池に充電し利用することで、発電した電気を効率的に消費できるだけでなく、停電時に非常用電源として活用できます。

質 問 10	二酸化炭素吸収源として森林または農地をそのまま残すのと、ソーラーパネルを設置するのとでは、同面積での削減効果はどちらが高いですか。
-----------------------	---

【市の考え方】その他

二酸化炭素吸収源となるためには、炭素が長期間固定される必要があります。

農地では、二酸化炭素を吸収して成長した農作物が収穫されるため、二酸化炭素削減効果は低くなります。

適切に整備・管理された森林は吸収効果がありますが、太陽光発電設備による発電の方が削減効果は高くなります。

そ の 他 4	耕作放棄地への太陽光パネルの設置は、農業部門と調整をしっかりとほしいです。
----------------------------	---------------------------------------

【市の考え方】その他

農地への太陽光発電設備の転用については、関係法令に基づき農業委員会と十分に調整を図ってまいります。

その他 5	突然、茶畑に太陽光発電が設置されることは景観的にも問題があるため、立地について将来的な計画を立てて事業を進めてもらいたいです。
その他 6	太陽光発電施設が無作為に設置されることで、原風景がなくなってしまうことを危惧しています。

【市の考え方】その他

太陽光発電設備においては、市条例に基づき、地域との共生が図られた導入を進めています。今後は、主な設置場所として住宅や工場の屋根上といった自家消費型の太陽光発電や、次世代型太陽光電池の導入を推進していきます。

質問 11	太陽光発電は、防災面が心配されるため、何か考えはありますか。
----------	--------------------------------

【市の考え方】その他

太陽光発電設備は、系統停電時にも発電が可能となるため、防災面で優位性があると考えます。

今後は、住宅等の屋根上に設置するものに限らず、壁にも設置できるような次世代型太陽電池も推進していきます。

その他 7	大規模な太陽光発電ではなく、自宅の屋根に設置して自家消費するような小規模なものについては、補助金を出してでも推進していくべきと考えます。
----------	--

【市の考え方】その他

令和7年度時点において、「創エネ・省エネ・蓄エネ型住宅推進事業費補助金」として住宅の屋根上における太陽光発電設備に対し補助金を交付しています。

提案 7	「太陽光発電設備などを設置できない場合は、実質再生可能エネルギー電力の購入など電力の脱炭素化を推進します。」の表現は、「カーボンクレジット（または環境価値）でオフセットし実質再生可能エネルギーを使うものと同等とみなされる電力の購入など電力の脱炭素化を推進します。」など分かりやすい表現に変えてはいかがでしょうか。
-----------------	--

【市の考え方】案の修正

ご意見を踏まえ、下記のとおり本文を修正します。

《修正内容》（修正後計画案 34 ページ）

（修正前）

また、太陽光発電設備などを設置できない場合は、実質再生可能エネルギー電力の購入など電力の脱炭素化を推進します。

（修正後）

また、太陽光発電設備などを設置できない場合は、非化石証書を使用した実質再生可能エネルギー100%電力の購入などによる、電力の脱炭素化を推進します。

質問 12	洋上風力発電は保守に費用が掛かるとは思いますが、予算上の問題は無いのですか。
------------------	--

【市の考え方】その他

洋上風力発電の導入については、静岡県「洋上風力発電のあり方検討会」で検討を重ねています。

なお、市が発電主体となることは想定していないため、保守費用を負担することはありません。

その他 8	温室効果ガスの削減目標はハードルが高いと感じているため、電力を大量に消費する企業に対して、市内の中小河川を利用して小規模水力発電を設置し、電力を供給してはどうでしょうか。
------------------	---

【市の考え方】その他

現在、市に情報提供いただいている小・中規模水力発電の事業計画の件数は限定的です。

市内河川における導入ポテンシャルはあることから、引き続き民間企業による導入を促進してまいります。

質問 13	太陽光発電などで発電した再エネ電力を蓄電する施設などに関する事項は、この実行計画には盛り込んでいないのですか。
------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

「基本方針2 再生可能エネルギーの最大限の導入・活用」の実施すべき取組として、「地域と調和した系統用蓄電池の導入」を記載しております。

なお、取組を「地域との共生が図られた系統用蓄電池の導入」に修正します。

質問 14	太陽光パネルを設置 20～30 年後に廃棄処分することについて、市はどのように考えていますか。
その他 9	再生可能エネルギー由来電力の目標設定において、2040 年度の太陽光発電の割合が顕著に増えており、廃棄時の問題が懸念されます。

【市の考え方】その他

パネルの廃棄については、既に国が再エネ特措法に基づく積立制度を開始しており、リサイクル法案の整備も進められています。

環境負荷の低減につながる太陽光パネルのリサイクルを推進することで、脱炭素と循環経済（サーキュラーエコノミー）の両立を目指してまいります。

質問 15	老朽化が進んでいる太陽光発電設備がありますが、リサイクルに関する考えはありますか。
------------------	---

【市の考え方】その他

県や廃棄物処理業者などが参加する会議、先進事例の視察、市内廃棄物処理業者との意見交換などを通じ、適切なリサイクルが進むよう検討してまいります。

環境負荷の低減につながる太陽光パネルのリサイクルを推進することで、脱炭素と循環経済（サーキュラーエコノミー）の両立を目指してまいります。

要望 6	太陽光パネルは、固定価格買取が終了する 20 年で廃棄するのではなく、さらに長く活用してもらいたいです。
-----------------	--

【市の考え方】盛り込み済

「基本方針2 再生可能エネルギーの最大限の導入・活用」に記載のとおり、卒FIT 電力についても、自家消費や市内企業への供給に活用するなど、様々な手法で電力の地産地消を推進します。

質問 16	再生可能エネルギーの固定価格買取制度が順次終了し、2030年ごろから安価な電力量が急増しますが、市として検討していることはありますか。
------------------	---

【市の考え方】 その他

卒FIT電力の地域内での活用はカーボンニュートラルの実現には不可欠であり、電力分野の地域経済循環にもつながることから、卒FITが本格的に始まる2033年に向けて有効な施策の検討を進めております。

提案 8	「(株)浜松新電力などを活用した電力の地産地消の推進」の表現は、浜松新電力が一部民間の出資を受けている点を踏まえ、「電力の地産地消の推進」という表現にとどめてはいかがでしょうか。
-----------------	---

【市の考え方】 案の修正

ご意見を踏まえ、下記のとおり「実施すべき取組」を修正します。

《修正内容》(修正後計画案 34 ページ)

(修正前)

(株)浜松新電力などを活用した電力の地産地消の推進

(修正後)

地域新電力などを活用した電力の地産地消の推進

提案 9	基本施策を、(1)カーボンニュートラル関連技術の開発→(2)カーボンニュートラル新技術の活用→(3)次世代エネルギーなどの活用→(4)循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行に変更した方がわかりやすいのではないのでしょうか。
-----------------	---

【市の考え方】 案の修正

ご意見を踏まえ、下記のとおり本文を修正します。

《修正内容》(修正後計画案 26 ページ)

(修正前)

基本方針 3 グリーンイノベーションの推進

- (1) カーボンニュートラル関連技術の開発
- (2) カーボンニュートラル新技術の活用
- (3) 循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行
- (4) 次世代エネルギーなどの活用

(修正後)

基本方針 3 グリーンイノベーションの推進

- (1) カーボンニュートラル関連技術の開発
- (2) カーボンニュートラル新技術の活用
- (3) 次世代エネルギーなどの活用
- (4) 循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行

提 案 10	市民が各家庭でへちまを育てることで、「へちまスポンジ」を自分で作れ、プラスチックやごみの削減につながるため、「基本方針3 グリーンイノベーションの推進」に「へちまの活用」を盛り込んでいただきたいです。
-----------------------	--

【市の考え方】 その他

化石原料由来の製品から天然由来の製品に代替することは、温室効果ガスの削減につながります。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

要 望 7	浜松市の未来を見据えた市民の意識の向上と協力が不可欠ですので、市民が参加して浜松市の未来を創る場である「気候市民会議」を開催してください。
----------------------	---

【市の考え方】 その他

他都市においては「気候市民会議」を計画策定に関わる政策提言や、事業に対する意見や提案、参加者の意識醸成などに活用している事例があります。

他都市の状況を調査研究し、市民参加のあり方や有効性などを検証した上で、本市での開催を判断してまいります。

質 問 17	木材には CO ₂ を吸収する効果がありますが、浜松市ではどのくらい森林に関するカーボンニュートラルの取組が進んでいるのですか。
-----------------------	---

【市の考え方】 その他

FSC®森林認証制度による適切な管理及び住宅・非住宅での木材の利活用を推進するとともに、カーボンクレジットを創出し、森林による吸収量を価値化する事業を進めています。

創出した環境価値の市内利用を推進することで、市内企業の脱炭素化だけでなく地域経済循環が期待されます。

そ の 他 10	浜松市は森林などによる二酸化炭素の吸収量が多く、環境に恵まれていると感じます。 吸収量を増やすためには、市域面積の3分の2を占める森林資源を生かして、維持管理に注力することが大変重要です。
-----------------------------	---

【市の考え方】 その他

FSC 森林認証制度による適切な管理などを通じて、引き続き森林による二酸化炭素の吸収・固定・貯留を進めます。また、住宅・非住宅での木材の利活用についても、あわせて進めてまいります。

要望 8	CLT など新たな工法によるイノベーションを進め、林業の持続的な発展につなげていただきたいと思います。
-----------------	---

【市の考え方】盛り込み済

地産木材の利用は、持続的な林業振興や森林資源の地産地消などにつながるとともに、二酸化炭素の固定にも寄与することから、引き続き、木材利用や関連するイノベーションの推進に積極的に取り組んでいきます。

提案 11	有機農業で農地に投入される有機物の中の炭素は、土壌中に蓄積されるため、基本方針4に有機農業推進の視点を加えてもらいたいです。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

「基本方針4 温室効果ガスの吸収・排出抑制」の実施すべき取組として「有機農業、緑肥の施用などによる農地への炭素貯留」を記載しています。

要望 9	市民の生活と自然との間をつなぐ農林水産業を次の世代が選択するような社会的な位置づけが必要だと考えます。 例えば有機農業は、体に良いことに加え、地球にやさしい農業であることも大切な点です。
-----------------	--

【市の考え方】その他

有機農業は、化学肥料や農薬の不使用、炭素貯留などにより、地球温暖化対策に資することから、本計画においても推進することとしています。

提案 12	へちまの葉は大きく、森林の葉の面積の2倍以上の吸収効果があり、CO ₂ 削減、NO ₂ 削減に貢献できます。また、胸高直径20cm程度のクスノキが1年間に吸収するNO ₂ 量の3本分に相当するという調査結果もあるため、「基本方針4 温室効果ガスの吸収・排出抑制」に「へちまの活用」を、盛り込んでいただきたいと思います。
------------------	--

【市の考え方】その他

N₂O（一酸化二窒素）は本計画における温室効果ガスの対象ですが、NO₂（二酸化窒素）は対象外となります。

植物がCO₂を吸収して成長したのみでは炭素は固定されず、緑肥などに利用した場合には固定されません。

いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

第7章 適応策（浜松市気候変動適応計画）（0件）

第8章 計画の推進（1件）

質問 18	この実行計画を企業や市民に、どのように周知、徹底するのですか。 また、実際の行動にどのように結びつけていくのですか。
----------	---

【市の考え方】その他

企業に向けては、セミナーや研究会などの各種事業を通じて、具体的な施策などを周知してまいります。

市民に向けては、浜松市地球温暖化防止活動推進センターなどを通じて、実施すべき具体的な取組などを広く周知してまいります。市民が実践すべき取組が「デコ活」となりますので、「デコ活」の具体的な取組を掲載した広報はままつのコラムや冊子などを活用し、周知をしてまいります。

その他（意見数 8件）

その他 11	国連の諮問機関 IPCC によると、CO ₂ を1兆トン排出すると気温は0.5℃上がるとされ、2050年までに日本のCO ₂ 排出量を直線的にゼロにするとしても、気温低下は0.006℃しかないとされています。
その他 12	体感すら出来ない気候変動対策に巨額の税金を投じることに疑問を感じざるを得ません。「ドブにお金を捨てる」様にしか見えません。
その他 13	国際連合の諮問機関である気候変動に関する政府間パネルは、日本が2050年までに二酸化炭素排出の実質ゼロを達成したとしても、平均気温の低下は0.006度しか見込めないというデータを示しています。国は温暖化対策に10年で150兆円を投じていますが、費用対効果を鑑みるに、疑問が残ります。
その他 14	二酸化炭素排出量が多い中国やロシアは温暖化対策に積極的でないことから、対策への検討が必要だと考えます。

【市の考え方】その他

カーボンニュートラルに向けた取組は世界的な潮流となっており、国も国際公約として掲げる政策でもあることから、市としても積極的に取り組むべき政策となります。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

提案 13	巻末に用語の説明を載せて欲しいです。
提案 14	専門用語が多いため、別冊にて用語集等を用意するなど配慮をしてほしいです。
提案 15	この計画はカタカナ言葉が多く、また、注釈もないことから、もう少し、わかりやすい言葉で書いてはどうでしょうか。

【市の考え方】案の修正

ご意見を踏まえ、別冊の資料編に用語解説を掲載いたします。
また、文章の表現についても見直します。

質問 19	今回の実行計画[2026]の策定について、市民への啓蒙のための概要版パンフレット等の作成を検討していますか。
------------------	--

【市の考え方】その他

概要版パンフレットの作成予定はありませんが、市民に向けては、「デコ活」に関する具体的な取組を掲載した広報はままつのコラムや冊子などを活用し、周知を図ってまいります。